

- 1 夕焼けを地球の心臓として視(み)よ
- 2 阿鼻叫喚するやいなや、あら、満月
- 3 純粋な青に染まると決めた烏賊
- 4 めくりたる新潮文庫夏の月
- 5 冬の開園時間まで眠る象
- 6 雪おんな抱いた雪だるま溶けた
- 7 犯人は死んだ蛙の大合唱
- 8 おとうとが冷蔵庫持ち帰る日和
- 9 山桜見上げて保険証紛失
- 10 花冷えも裸足で絡み合う理由
- 11 「青春はびしょ濡れたシャツ」って言う
- 12 すっぴんも裸体の続き花曇
- 13 おとこだけくるくるまわるおどりかな
- 14 オリオンや流水抱いて今日はおやすみ
- 15 徹夜してゼリーをつつく男かな
- 16 バラたくさん降らせて棺桶の婆(ばば)
- 17 比較的になすビは好きよ、わかれましょ
- 18 裁判長！スイカに種はいりますか
- 19 国境線跨いでバナナの皮捨てる
- 20 象 + 象 それがおそらく晩夏である
- 21 夕焼けを背に高気圧な彼女だよ
- 22 夏蝶が揺れてドライブインに入る
- 23 失恋は辛いね大根切ろうね
- 24 星月夜ひとりぽっちのチーズカリー
- 25 去年今年倒れ続けるドミノかな
- 26 草食系男子代表心太
- 27 十二月シンの隅が父に似て
- 28 ペんぎんのようにあるけば桜ちる
- 29 夏の雲に幽霊船を浮かべて、女
- 30 不器用な右手の彼女に白百合
- 31 理科室の窓から望む雨は銀
- 32 誰彼も掌に雪飼っていた
- 33 ピーマンは輪切りに恋はぶきつちよに
- 34 旅に出るやっぱり帰る冬に入る
- 35 走る跳ぶ投げるまにまに象洗う
- 36 シヤボン玉壊して遊ぶ山賊団
- 37 北窓を開いてロシアンルーレット
- 38 短夜にチャイナタウンで咽び泣け
- 39 街は今、娼年たちと冬に入る
- 40 菜種梅雨男は黙って風呂掃除
- 41 つり革の○(まる)から見える古い月
- 42 逆立ちをれんげ畑がそうさせた
- 43 りんご乗せたタルトざくざく壊しにかかる
- 44 慟哭を二十五才の夏休み
- 45 火種付くまで蟻を焼いている
- 46 あえぎ喘いで真夏の夜のランナーズハイ
- 47 起立せよ春の孤独よ起立せよ
- 48 春光がほのかに香る乳房より
- 49 バレンタインさておき税金納入納入
- 50 陽炎へゆっくり沈めや乳母車

